

い

編集発行：池田市議会
住所：大阪府
池田市城南
1丁目1番1号
郵便番号：563-8666
TEL：072-752-1111
FAX：072-753-5414
[http://www.city.ikeda.
osaka.jp/](http://www.city.ikeda.osaka.jp/)

けだ

No.169

いけだ市議会だより

令和2年(2020年)5月1日



石澄川沿い(畑2丁目付近)にて

3月定例会・・・2

意見書・・・2

議決結果・・・3

議会日誌・・・3

各派代表質問・・・4

委員会レポート・・・11

やまばと・・・12

池田市議会

録画映像配信が始まりました!!

市議会では議会改革の一環として、令和2年3月定例会より録画映像配信を開始しております。

本号 P.4～ P.10に掲載の代表質問の録画映像を外部サイト「YouTube」において、配信しておりますので、ぜひご覧ください。

池田市議会 映像





3月定例会



3月定例会は、2月27日に開会し、市長から提出された報告案件2件と令和2年度各会計予算など議案36件は本会議及び委員会で審議を行い、いずれも可決しました。

また、市長の「令和2年度施政及び予算編成方針」と教育長の「令和2年度教育方針と主要施策」が発表され、それに対する各派代表質問を3月5日に行い、市民の声を市政に反映させるため、それぞれの立場から活発な議論を行いました。

そして3月25日には、市長から提出された追加議案2件並びに議員提出議案1件を審議し、いずれも原案どおり可決して3月定例会を閉会しました。

令和2年度予算を可決 一般会計予算は393億円

令和2年度の予算総額は、884億7844万円で前年度当初予算に比べて1・5%、13億4533万円の増となっております。そのうち、一般会計予算は393億1千万円で、前年度当初予算と比べて2・0%、8億1500万円の減となっております。

一般会計の重点施策としては、以下のとおりです。

《環境の分野》

さくら通りの植樹ます等を整備するために6600万円、防災機能を兼ね備えた憩いの場や交流の場とする満寿美公園の整備に5600万円、かまどベンチなどの防災機能を兼ね備えた石橋南公園の整備に4659万円を計上しています。

《活力あるまちの分野》

持続可能な開発目標であるSDGsを推進するために98万円、今後のまちづくりの指針となる「第7次池田市総合計画」の策定準備のための費用に1001万円を計上しています。

《教育の分野》

全小学校及び義務教育学校の6年生までの全学年への35人学級拡充のために4865万円、全小・中学校及び義務教育学校の体育館に空調設備を設置するための設計費用として4600万円を計上しています。

《子育ての分野》

待機児童対策として、保育の質と量を確保するため、「あおぞら幼稚園」で実施する緊急一時預かり事業として、393万円、保育士の処遇改善のために612万円を計上しています。

《福祉・保健の分野》

高齢者の保健事業と介護予防を一体的に取り組むことにより、医療費の適正化につなげる医療費適正化等推進事業に100万円、各種がん検診に先駆けて、乳がん検診の無料実施に4001万円を計上しています。また、グループホームで生活する障がい者の生活を365日、24時間支援する親なきあと対策の推進事業に1034万円を計上しています。

一般会計予算の反対意見としては、移転する新学校給食センターは民間委託せず、市の責任のもと直営とすることでサービスの低下を防ぐことができる。また、個人

情報漏えいのおそれのあるマイナンバーカードの取得促進はやめるべきである。さらに、現在の市民生活を守るため、新型コロナウイルス感染症対策として財政調整基金を取り崩しても支援を行うべきなどの意見が出されました。

一方、賛成意見としては、まちのにぎわいのために池田地域交流センターや石橋地域拠点施設を整備し、住民の交流の場を創出しようとしている。また、多世代交流の場である敬老の里プロジェクトの費用を計上しており、介護予防の仕組みであるアクティブシニア応援基金も継続して計上している。さらに、保育に関する質問などに24時間いつでも回答できるAIシステムを導入予定であり、市民の利便性の向上に寄与するなどの意見があり、賛成多数をもって原案どおり可決しました。

意見書

3月定例会においては、次の意見書を採択し、関係機関に送付しました。

○加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書



○市長提出議案及び議決の結果

議 案 名	議決の結果
専決事項の指定に係る処分報告について 専決指定第1号 損害賠償の額を定め和解することについて	報 告
地方自治法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決（全員異議なし）
池田市公共施設等適正管理委員会条例の制定について	原案可決（賛成多数）
池田市立幼稚園型認定こども園条例の制定について	原案可決（賛成多数）
池田市空家等及び空き長屋等の適切な管理に関する条例の制定について	原案可決（全員異議なし）
池田市公益活動促進に関する条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び労働者災害補償保険法の適用を受ける職員の公務災害等に伴う休業補償等の支給に関する条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市手数料条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市営住宅条例の一部を改正する条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決（賛成多数）
池田市介護保険条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市都市の低炭素化の促進に関する法律に係る手数料条例及び池田市建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律に係る手数料条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
共同利用施設条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車秩序の確立に関する条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
財産の無償譲渡について	原案可決（全員異議なし）
財産の無償譲渡について	原案可決（全員異議なし）
損害賠償の額を定め和解することについて	原案可決（全員異議なし）
令和元年度池田市病院事業会計補正予算（第3号）	原案可決（全員異議なし）
令和元年度池田市水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決（全員異議なし）
令和元年度池田市公共下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決（全員異議なし）
令和元年度池田市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決（全員異議なし）
令和元年度池田市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決（全員異議なし）
令和元年度池田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決（全員異議なし）
令和元年度池田市一般会計補正予算（第10号）	原案可決（全員異議なし）
令和2年度池田市病院事業会計予算	原案可決（全員異議なし）
令和2年度池田市水道事業会計予算	原案可決（全員異議なし）
令和2年度池田市公共下水道事業会計予算	原案可決（全員異議なし）
令和2年度池田市国民健康保険特別会計予算	原案可決（賛成多数）
令和2年度池田市財産区特別会計予算	原案可決（全員異議なし）
令和2年度池田市介護保険事業特別会計予算	原案可決（全員異議なし）
令和2年度池田市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決（賛成多数）
令和2年度池田市一般会計予算	原案可決（賛成多数）
専決事項の指定に係る処分報告について 専決指定第2号 損害賠償の額を定め和解することについて	報 告
令和元年度池田市一般会計補正予算（第11号）	原案可決（全員異議なし）
令和2年度池田市一般会計補正予算（第1号）	原案可決（全員異議なし）
令和元年度池田市一般会計補正予算（第12号）	原案可決（全員異議なし）
池田市都市公園条例の一部を改正する条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）

○議員提出議案及び議決の結果

議 案 名	議決の結果
池田市議会常任委員会及び特別委員会条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）

議 会 日 誌

2月	2月18日 議会運営委員会 2月25日 予算内示会 各派代表者会議 議会運営委員会 市議会定例会 市議会だより編集 特別委員会
3月	2月27日 市議会定例会 市議会だより編集 特別委員会 2月28日 各派代表者会議 3月5日 各派代表者会議 議会運営委員会 市議会定例会 市議会だより編集 特別委員会 3月6日 市議会定例会 3月10日 土木消防委員会 3月11日 厚生委員会 3月12日 文教病院委員会 各派代表者会議 総務委員会 3月16日 各派代表者会議 議会運営委員会 市議会定例会
4月	4月6日 市議会だより編集 特別委員会 4月8日 各派代表者会議 4月10日 各派代表者会議 市議会だより編集 特別委員会

代表質問

新生クラブ議員団

前田 敏
下窄 明

坂上 昭栄



質問者 下 窄 明

未来につながるまちづくりに
向けた明確な方針を望む

問 まちづくりの
基本姿勢について

市長就任当初の所信表明において「住民満足度No.1」や8つの「No.1」を柱としたまちづくりを表明された。今回は言及されていないが、その真意を問う。

答 基本的な考え方は
就任当初と変わっていない

令和2年度の施政方針には池田をよくしたい、社会をよくしたいとの思いに加えて変革と挑戦をする決意を盛り込んでいるものであり、基本的なまちづくりの考え方については変わらない。また、8つの柱についても施政及び予算編成方針で表明した施策の充実によって実現できるものと考えている。

問 細河地域の活性化を
どのように進めるのか

細河地域は池田市都市計画マスタープランにおいて、東山産業立地ゾーンとして位置づけられており、活性化については、市街化調整区域との関連を踏まえた上で検討するものであるが、見解を問う。

答 インベシジョンフィールドとして
活用したい

給食センター整備をきっかけに東山への産業立地を進める予定であったが、今ある自然環境等を生かしつつ、先端技術や国の制度を利用すべく再検討したい。例えば、ドローンの飛行禁止区域に該当しないことから、ドローンを用いた社会課題解決に向けた実証実験を行うことやその他の制度活用に向けて検討していくが、それらも地域の意見を踏まえて課題を整理し、市として方針を示していきたい。

問 新給食センターの
開始時期について

令和元年度当初では、令和2年5月からの開始予定であったが、それが遅延し2学期からとなった理由を問う。

答 資材の納品遅れによる
建物完成時期の遅れ

東京オリンピックやその他大型開発による建築物件数の増加により、資材の需要が高まる一方、台風や集中豪雨による被害復旧の需要が重なる状況の中で、資材メーカーが災害被害を受けるなど供給が追いつかず、納品遅れが発生したため、建物の完成時期が遅れた。

無理に計画に合わせるよりも万全の態勢で安全・安心な給食が提供できることを優先するために、現給食センターとの連携を図り、2学期からの提供となった。

問 地域分権制度の
取組の評価は

10年以上にわたって多くの市民の力を借りて進めてきた地域分権制度の見直しについては、しっかりと評価・総括した上でなければ、これまで活動してこられた市民の納得を得られないと考えるが、見解を問う。

答 制度自体が不完全なため
見直しを行う

行政と地域住民が協働のまちづくりを行える環境を整えた点と地域コミュニティ推進協議会が自ら地域イベントや共助サービス等の提供主体となり、地域の活性化に寄与されたことは大きな功績であるが、制度が不完全であることから見直しが必要である。



各派



質問者 小 林 吉 三

日本共産党議員団

山元 建 藤原美知子
小林 吉三

誰もが安心して暮らせる
福祉・医療・教育充実のまちへ

問 新型コロナから
市民の健康・生活を守る対策を

新型コロナは高齢者が重症化しやすい。介護施設などへの指導について問う。また、国は一般医療機関に協力を求めているが、市立池田病院の医療体制について一般診療との隔離を含めて、対応を問う。
新型コロナの影響で非正規雇用や市内中小商店等が打撃を受けている。こんな時こそ財政調整基金を活用して緊急の生活支援制度や貸付制度を導入してはどうか。

答 池田保健所と連携し
オール池田で取り組む

介護事業所等に対し、職員や利用者の体温測定・面会の制限等の対策の徹底を要請している。国・府の通知については、漏れなく介護事業所に周知している。池田保健所の要請により、感染疑いのある患者が来院した場合、一般診療と別の経路で誘導し、診療を行うこととしている。
緊急資金などは国・府の制度があり、今後の状況を見て検討する。

問 国保料が高すぎる
せめて子どもの減免を

高い国保料がさらに値上げとなる。30歳代・子ども2人の世帯では、

協会けんぽに比べて2倍の保険料となっている。子どもが増えると保険料が上がるため、子どもの均等割を減免すべき。保険料の納付相談で、生命保険の解約を求める等の異常な対応はやめるべき。

答 国保広域化の流れに
乗ることが貢献になる

持続可能な国保のため、国保の広域化の流れに乗る。子どもの減免は国の制度で、国保料が高い件は理解するも国保改変の二段階。

問 池田病院は公立でこそ
市民の健康を守れる

市立池田病院は地域医療支援病院で、公立としての役割がある。新型コロナ対応でも重要な役割を担っている。国の方針のうちのみでは市民の命と健康は守れない。

答 経営形態を含めた
「病院の在り方」を検討

全国的に公立病院再編が議論されている。経営形態を含めた「病院の在り方」の検討は必要。



問 大阪のカジノ誘致に
反対すべき

ギャンブル依存症の拡大、治安の悪化、経済への負の影響や青少年への悪影響となり反対すべき。他の自治体は撤退をしている。同じ維新の会として大阪府・市にカジノ誘致の中止を求めるべき。

答 全体の公益に資する取組

IRのカジノの面積は全体の約5%、全体の公益に資する取組として府・市が進めることを注視する。

問 石橋保育所建て替えを
早期に

石橋保育所の早期建て替えと、休止期間中の対策について問う。

答 保育ニーズに対応し
早急な設置検討

石橋保育所については、同地域に新たな保育所を早急に設置すべく具体的事項を検討中。また、現在、園児に対し、送迎保育等必要な支援策を検討し、適宜実施する。

代表質問

大阪維新の会池田議員団

石田 隆史

瀧澤 智子



質問者 瀧澤 智子

市民の想いを実現し、
持続可能なまちづくりを

問 新設する
SDGs政策企画課について
施策展開について問う。

答 ゴールを意識した
取組を推進

既に取り組んでいるSDGsの
理念に合致した既存事業と紐づけ
て啓発を行う。具体的な取組につ
いても検討する。

問 細河地域の活性化について

計画の進捗や周辺住民との合意
形成について問う。

答 細河地域の課題を整理し
基本方針を策定する

社会経済状況や市民の意向、取
組を踏まえ「市街化調整区域まち
づくり基本方針」を策定する。A
Iを活用した農業振興や企業誘致
など新たな取組も検討する。

問 おもてなし隊への
小・中学生の参加について

「いけだおもてなし隊」が英語
で観光案内をし、活躍していただ
いているが、教育委員会と連携し、
小・中学生が英語で観光案内をす
るボランティアはできないか。生
きた英語を使うことは貴重な経験

になると考えるが、見解を問う。

答 実施について検討

「いけだおもてなし隊」は、外
国人観光客の回遊促進につながっ
ている。小・中学生が生きた英語
を使う絶好の機会と考える。

問 AIを活用した
保育の問合せについて

運用内容について問う。

答 AIチャットボットを導入

市民や事業者からの保育に関す
る行政情報などを自動応答で対応
する。質問者の疑問や不安の解消
を通し、市民対応の向上を目指す。

問 留守家庭児童会の
拡充について

待機児童の抑制と対象学年の拡
大について、ニーズがあると考え
るが、方向性を問う。

答 段階的に拡充を行う

低学年の利用希望者を受け入れ
た上で、高学年の受け入れ体制が
整った学校から段階的に拡充して
いく。

問 自治体や地域が連携した
災害対策について

箕面市では、災害時に家族の無
事を知らせるために、玄関のドア
に黄色い布をつける取組がある。
本市においても、災害時の行動計
画に取り入れることが有効と考え
るが、見解を問う。

答 実施の是非について検討

現在、風水害タイムラインを策
定し、防災行動を時系列に整理
している。箕面市の取組はスピー
ディーな安否確認ができるものと
認識。実施の是非を検討する。

問 プログラミング教育の
推進について

プログラミング教育を推進する
ためには、ICTの環境整備が必
要。本市の体制は。

答 より実践した内容で
推進する

ICTの環境整備と教員の指導
力向上に向け、体制を整備する必
要があると認識している。

各派



質問者 西 垣 智

自民同友会議員団

小林 義典 細井 馨
浜地慎一郎 西垣 智

魅力と元気あふれる
安全・安心な池田を！

問 第7次総合計画策定の
着手について問う

新たな組織で第7次総合計画の策定に着手していくとのことだが、第6次総合計画の第3期実施計画は、予定通り4年サイクルで進めていくのか、見解を問う。

答 第7次総合計画は
1年前倒しを視野に

第6次総合計画及び第3期実施計画については、令和4年度末までを計画期間としているため、令和2年度から次期総合計画の策定に着手する予定。なお、新たなまちづくりの方向性を早期に示すため、第7次総合計画のスタートを1年前倒しすることも視野に入れている。

問 石橋地域拠点施設
整備事業について問う

石橋地域拠点施設整備事業として、石橋駅前会館、石橋西駐輪場等の既存施設の解体工事を行うとのことだが、近隣住民や各種団体への周知計画について問う。また、工事期間中の交通対策及び安全対策についても問う。

答 工事業決定後
速やかに説明会を開催する

現石橋駅前会館及び石橋西駐輪場の解体工事は、令和2年度の夏前頃からの開始を予定しており、それに先立ち、工事業者が決定した際には、速やかに地域住民や団体への工事説明会を開催し、地域の御理解をいただく。また、解体工事の実施に当たっては、工事エリアの明確な区分や粉じん対策のほか、警備員を配置しての交通誘導等、万全の安全対策を行う。

問 (仮称) 池田地域
交流センターについて

共同利用施設池田会館と栄本町のコミュニティセンターを統合し、(仮称)池田地域交流センターを整備することだが、完成までのタイムスケジュールとセンター機能の詳細について問う。

答 令和4年度の供用開始を
予定している

整備スケジュールとしては、令和2年度に実施設計及び現池田会館の解体工事、令和3年度に新施設の建設工事を行い、令和4年度の供用開始を予定している。現在検討している機能については、現池田会館で担ってきた集会施設機能に加え、栄本町のコミュニティセンターから公益活動促進センター及びしごと相談・支援センターの機能移転を念頭に、令和元年度中の基本設計の納品に向け精査を進めている。

問 学校教育施設の
充実について問う

市立小・中学校及び義務教育学校の屋内運動場への空調機器の設置について、令和3年度末に設置完了を目指すとのことだが、完了までのタイムスケジュールについて問う。

答 令和3年度中の
設置完了を目指す

市立小・中学校及び義務教育学校の屋内運動場への空調機器設置については、令和2年度に設計業務を実施し、設置工事については、令和3年度中の可能な限り早い段階で工事に取り組み、全学校への設置完了を目指す。



代表質問

公明党議員団

多田 隆一

荒木 眞澄

藤本 昌宏

いまこそ
「市民の生命と財産を守る」
取組を！



質問者 藤本 昌宏

問 誰一人取り残さない
SDGs 認知度向上を

あるアンケートによれば「SDGs」は世界的な取組ではあるが、認知度はいまだ27%とのこと。まずは、認知度の向上を目指した、各種の取組が重要では。

答 認知度の向上は重要
効果的な啓発を検討

SDGsの達成には、行政のみならず市民や企業、団体などの参画が不可欠。そのために、認知度向上は重要だと考えている。効果的な啓発手段を検討していく。

問 今後、地域コミュニティの
さらなる充実を

これからの時代、複雑化する行政課題を乗り越えるためには、市民のエンパワーメント（内発的な力）を発揮させることが重要。これまで各地域で、人間関係を構築してきた地域コミュニティをさらに充実させることが重要では。

答 市民同士の支え合いは
重要になると考える

地域分権制度の見直しの中で、防災・防犯、共助に重点を置いた組織へと再編していきたい。

問 観光振興目指し
広域のWiFi環境を

観光客の利便性向上に向け、本市観光コースの全てをカバーするフリーWiFi環境の設置を。

答 地元負担も考慮し
ネット環境の提供を検討

既存のアクセス状況から判断し、利便性向上への寄与は認識。2020年中に運用が開始予定の5Gの優位性などを検証し、検討する。

問 中高年のひきこもり問題は
社会全体の課題

40歳から64歳のひきこもりに関する政府の調査結果が、社会に大きな衝撃を与え、今後の課題となってきた。ひきこもり期間の長期化による、家族の社会的孤立も問題である。訪問型支援員による信頼関係の構築や、サポート事業などを実施すべきでは。

答 手探りで対応中
各機関の連携体制を強化

全国的な課題だと認識。本市では、担当課、社協、外部機関が連携し対応。状況や内包する問題は様々であるために、各機関の連携強化が重要だと考えている。また、不登校のままひきこもりになると

対応が困難なことから、教育委員会との連携も今後の課題と認識。

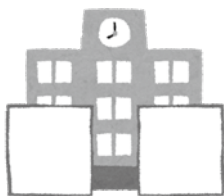
問 市立学校での
新型コロナウイルス対策は

子どもたちの命と暮らしを守ることに最優先、との基本に立って、児童や保護者の不安解消を。また、知恵を絞って、ネットなどを活用した学習環境の構築を。

そして、この感染症対策は本市全体にとっても、大きなピンチではあるが、平時では考えられないほどの緊張感の中、行政、議会、地域、市民が力を合わせて団結できる機会と考えている。市民力向上を図り、ピンチをチャンスに変える取組を、要望する。

答 教師も非常に心配
各種の取組で対応

子どもたちと電話連絡を取ったり、訪問活動で対応。ネットに関しては、文科省の学習支援サイトなどの周知に努める。



各派



質問者 守屋 大道

青風会議員団

山田 正司 渡邊 千芳 川西 二郎
中田 正紀 守屋 大道

福祉と教育が充実し
地域が活性化する安心のまちづくり

問 高齢者の総合的な
相談・支援の仕組みは

地域で生活するために、気軽に相談・援助できる体制や住み慣れた地域や家で生活を続ける医療・介護体制の構築について問う。

答 専門職による
多面的な支援を行っていく

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域包括支援センターにおいて総合相談事業を実施中。

問 国民健康保険の被保険者の
推移と介護予防は

財政状況が厳しい中、資格喪失者の推移は。また、高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な実施はどのように進めるのか。

答 減少傾向
医療費適正化と健康寿命の延伸

介護予防の通いの場などで保健師など医療専門職による健康教育・健康相談を行っていく予定。

問 障がい者の地域に根差した
生活と支援体制を

障がい者も仕事や作業など社会進出できる日中活動が必要。居場所を確保する在宅生活の充実を。

答 退院・退所などの
地域移行の支援を行う

地域生活支援拠点等の整備に係るコーディネート者を配置し、相談や緊急事態に対応していく。

問 池田市の公教育の成果と
今後の方向性を問う

池田市教育ビジョンで示された3本柱である英語教育・幼児教育・ICT教育では一定の成果を出している認識。さらなる充実を。

答 子どもは地域のつながりの中で
育まれる

グローバル化の進展やAI化などの技術革新の激しい社会情勢で、たくましく生き抜く力・姿勢が求められている。地域の子ども・大人の関係性の中で学び続け、「共に生きる池田の子ども」の理想像を掲げて育成していきたい。

問 PTAの形骸化は
地域力低下につながる

教育コミュニティの活性化には家庭・地域の要であるPTAが重要。PTAが地域力にとって重要な役割を果たす

子どもたちの健全な育成を達成するためには保護者と教職員が協

力していくことが大切だと認識。今後も支援し、活性化させていく。

問 大阪国際空港と
周辺の活性化について

大阪国際空港周辺は地域住民にも楽しめる商業施設に。国際臨時チャーター便の今後を。

答 温浴施設が準備中
長期的スパンを視野に議論

2037年開業予定のリニア中央新幹線開通により、近距離国際線の路線を充てる等議論を行う。

問 行財政改革における
SDGsの視点は

持続可能な開発目標の理念推進のため、具体的にどのように行政施策に取り入れていくのか。

答 全庁一体となって
具体的な施策に取り組む

少子高齢化による人口減少や税収減等の課題を抱える中、SDGsの理念を意識し、既存事業を17ゴールとひもつけての啓発や各種団体との連携についても検討する。

各派代表質問

無所属の会議員団

安黒 善雄

三宅 正起



質問者 三宅 正起

「命を守る」・財政の「見える化」
次世代への投資を

問 財政の「見える化」と
目玉政策について

財政調整基金の残高、大規模事業の展開、市債償還金等、本市の課題は山積。歳出の優先順位を最大限に考慮しつつ、市民サービスの向上をいかに図っていくか、そのためにも、効率よい「見える化」の徹底を期待したい。また、市長の目玉政策は何か。

答 財政の「見える化」を
より一層推進する

公共施設の老朽化、人口減少・少子高齢化の進展により、今後の本市財政は一段と厳しさを増すものと見込まれる。住民サービスの向上や財政マネジメントの強化を図る観点から財政の「見える化」を推進する。新年度の目玉政策としては、SDGsの達成や、ICT・AIの活用に向け、新たな組織体制を構築し、本市の将来像を描くとともに、持続可能なまちづくりに取り組む。

また、予算面では、全小学校・義務教育学校において、35人学級編制を全学年に拡充し、教育環境の充実を図るとともに、全小・中学校等の屋内運動場へ空調機器を順次設置し、教育環境の整備や防災機能の強化に取り組む。

問 今後のインバウンド対策について

感染拡大した新型コロナウイルスによる影響から外国人観光客が激減、本市でも影響があり日清との協議のもと、改善策が必要だと思われるが、今後のにぎわい創出のためのインバウンド対策は。

答 市内観光施設等との連携を
さらに強化

1日も早い新型コロナウイルスの沈静化を願い、元のにぎわいを取り戻すため沈静化後のインバウンド誘客に向けて、座禅や盆栽などの体験型コンテンツの造成に取り組んでおり、カップヌードルミュージアム大阪池田など市内観光施設等との連携をさらに強化する。

問 いじめ・不登校支援員について

不登校の子どもの数が小・中学校ともに増加傾向にある中、いじめ不登校支援員による未然防止・早期対応が効果を上げているが現在の配置では活用が不十分である。支援員の増員と配置日数の増加を図りたいと思うが見解を。

答 週に2、3回の支援に加え
配置の拡充を予定

教職員と異なる立場のいじめ不登校支援員が、子どもたちに関わることで心の安定や居場所の確保につながっており、効果が見られる。緊急事態が生じた際にも対応できるよう、配置の拡充を予定。

問 外国籍の子どもたちへの
支援について

親の就労の関係で外国籍の子どもたちが急増している。それらの子どもたちや教職員への支援の充実を図りたいと思うが見解を。

答 子どもたち及び
教職員への支援の拡充

現在、日本語指導が必要な園児・児童・生徒は約50名。学校園へ音声翻訳機を新たに貸与するとともに、母語を理解する支援員の派遣、教材や資料の提供等の支援の拡充に努める。



委員会 レポート



3月定例会では、市長から提出された議案のうち27件の議案を、市議会に設置している4つの常任委員会に審査付託し、細部にわたり慎重に審査しました。

3月25日の本会議では、各委員長が審査の結果報告を行い、市長から提出された議案はいずれも原案どおり可決しました。

各委員会での審査の主な内容は、次のとおりです。

総務委員会

減額提案された電子錠システム
構築費用の見直し内容は

《一般会計予算》

問 今回、公共施設統合管理推進事業の修繕料及びシステム構築委託料として、480万円予算計上している。

これは、昨年の9月定例会に提案があり、減額修正された電子錠システムの構築費用であるとのことだが、前回の提案額の700万円から、かなり減額した提案になっている。

どのような内容を見直したのか。

人件費や電子錠設置数等を見直し
費用削減に努めた

答 今回、新たに見直した内容については、システムエンジニアの人件費の実情やその他経費の再計算を行ったのをはじめ、電子錠の設置予定施設である北豊島分団詰所の防災研修室の使用方法の見直しにより、電子錠の設置個数を3個から1個に変更することともに、システム開発期間の変更によるWiFi設置費用を見直し、費用の削減に努めた。

また、地域総合整備財団の調査

研究モデルにエントリーし、歳入の確保策にも取り組み、さらに、業者選定に当たっては、予算案の承認を受けた後、プロポーザル方式で業者の公募を行いたいと考えている。

文教病院委員会

無料運行している通園バスを
有料化するに至った経緯は

《幼稚園型認定こども園条例の制定》

問 今回の提案は、令和3年4月から全ての市立幼稚園を幼稚園型認定こども園に移行するため、条例を制定するものである。

本条例において、現在無料で運行している通園バスの有料化の提案があるが、これは、市立幼稚園の統廃合時に従来どおり市内のどの地域からでも、公立幼稚園へ通園できるようにと無料の通園バスを運行させてきた経緯を軽んじている上、昨年10月から始まった幼児教育・保育の無償化の流れにも逆行していると考えるが、見解を問う。

公平性の観点や審議会からの
答申を踏まえ有料化に至った

答 通園バス運行の経緯は、指摘

のとおりであり、幼児教育・保育の無償化は、子ども・子育て支援のための制度であると認識している。

しかし、現在でも園児全員が通園バスを利用していない状況を鑑みれば、公平性の観点から受給者負担はやむを得ないものであると考えている。

また、本市の幼児教育審議会から公私立の均衡を図るようにとの答申も受けており、従来から通園バスに料金制度を導入している私立との均衡を図るため、有料化するに至った。

厚生委員会

社会保障・税番号制度システムの
導入による効果は

《国民健康保険特別会計予算》

問 今回、新たに社会保障・税番号制度システム整備費補助金を予算計上しているが、本補助金の内容及び本システムの導入効果について問う。

失効した保険証利用の未然防止等
利便性の向上が期待できる

答 本補助金の内容は、マイナンバーカードによる保険医療機関等

受診時のオンライン資格確認システムの導入費用に対する補助金である。

本システムは、令和3年3月を目途に、全国の保険医療機関や保険薬局が、全ての医療保険を対象として、マイナンバーカードを用いて、被保険者が加入する保険の種類や保険適用の負担割合等の資格情報をオンラインで照会することができるとのシステムである。

また、導入効果としては、医療機関においては、失効した保険証の利用による誤った請求や未収金の発生が予防でき、被保険者においては、転職などで保険者が変更した場合でも、マイナンバーカードの提示により、改めて変更後の保険証を持参する必要がなくなるなど、両者にとって利便性の向上が期待できる。

土木消防委員会

救急隊の増員により可能となる
4隊運用の効果は

《一般会計予算》

問 昨年の職員定数条例の一部改正に伴い、消防職員が増員され、新年度から救急隊を1隊増隊し、3日に1回の4隊運用が可能とな

るが、その効果について問う。

また、年々増加傾向にある救急需要に対応するため、どのような救急体制の充実強化を進めようと考えているのか。

救急受援件数が削減され 市民サービス向上につながる

答 救急隊の増隊による効果は、現在、年間約100件もある近隣市からの救急受援件数を削減できることである。

本市消防が、出場することにより、通報から現場到着までの時間が短縮され、より迅速な対応が可能となり、市民サービスの向上につながるものと考えている。

また、さらなる救急体制の充実強化に向けて、まずは、救急隊の4隊運用が24時間体制で運用でき

議会の予定

市議会の役員選出を主として審議するため、5月18日（月）に臨時会を開催する予定です。

6月定例会は、下記の日程で開催する予定です。本会議・委員会はいつでも傍聴できます。

開会は、いずれも午前10時からの予定です。（定員あり）

6月5日(金)	本	会	議
6月9日(火)	委	員	会
6月10日(水)	委	員	会
6月12日(金)	委	員	会
6月15日(月)	委	員	会
6月24日(水)	本	会	議
6月25日(木)	本	会	議

〈市議会新型コロナウイルス感染症 対策支援本部を設置〉

政府の緊急事態宣言を受け、池田市議会では、4月8日に「池田市議会新型コロナウイルス感染症対策支援本部」を設置しました。

今後も、市の新型コロナウイルス感染症対策本部と連携しつつ、市民の皆様からのご意見・ご要望等を市の対策に反映させるため、全力を挙げて対応してまいります。

るように、関係部局と調整の上、必要人員を確保するとともに、高規格救急車の計画的な更新を図っていきたいと考えている。

やまばと

日頃は市議会に対し、御理解・御協力を賜り、ありがとうございます。

コロナ禍に見舞われ、まだ終息の気配が見えません。池田市議会3月定例会では本市の新型コロナウイルス対策について質疑が交わされたところです。

一方で、3月定例会は新しい年度の予算を審議する場でもあり、今回、35人学級の小学校6年生までの拡充、乳がん検診の無料化等の実現に寄与できたことはうれしい限りです。

最後に、本号が今期の市議会だより編集特別委員会による最後の発刊号となりますが、次期におきましても、「いけだ市議会だより」のご愛読のほどどうかよろしくお願いいたします。

市議会だより編集特別委員会

委員長	山元 建
副委員長	守屋 大道
委員	下 寛 明
委員	藤 本 昌 宏
委員	西 垣 智 子
委員	瀧 澤 正 起
委員	三 宅 正 起